

天然 コルク栓

NDtech®

45 x 24 / 25 / 26 mm
49 x 24 / 25 / 26 mm
54 x 24 / 25 / 26 mm



TCA
<0.5ng/L

天然コルク「NDテック」：コルク栓を個々にガスクロマトグラフィーで測定・選別を行い、遊離可能なTCA含有量が限界値以下であることを保証するシステム：Releasable TCA量は、ISO 20752に準拠した社内測定法で、0.5 ng/L以下：製造工程全体の完全なトレーサビリティ：X線検査およびシール検証システム（SVE）

AMORIM CORK × KITA SANGYO

Naturity®

45 x 24 / 25 / 26 mm
49 x 24 / 25 / 26 mm
54 x 24 / 25 / 26 mm



TCA
99%=
<0.5ng/L

天然コルク「ナチュリティ」：TCA及び150種類以上の異臭原因物質を除去：Releasable TCA含有量は、99%が0.5 ng/L以下、1%が1.0 ng/L以下：製造工程の完全なトレーサビリティ：X線検査およびシール検証システム（SVE）製造工程全体の完全なトレーサビリティ：X線検査およびシール検証システム（SVE）：びん口への嵌合適性がより優れる「Bee-W」（天然由来のワックス）が選択可能

CO₂ FOOTPRINT
-56,4g
per stopper

マイクロアグロ※ コルク栓

Xpur®

38 x 24 / 25 mm
44 x 24 / 25 mm
49 x 24 mm



TCA
<0.3ng/L

マイクロアグロ「Xピュア」：競合他社品に比べて感応試験で高評価：天然コルク微粒の構成比率が、体積比で98%以上、重量比で80%以上：競合他社品（重量比65%以上など）に比べ、コルク構成比率が高く、抜栓力で有利：バインダー（結合剤）はマイクロスフィアは不使用で化学物質的に安心：競合他社品はウレタングルーのバインダー：従来技術よりエネルギー消費やCO₂消費量の少ない、独自のCO₂超臨界流体技術でTCAを除去：Releasable TCA量は、ISO 20752に準拠した社内測定で、0.3 ng/L（検出限界）以下

CO₂ FOOTPRINT
-34,8g
per stopper

※従来の「圧搾コルク(Agglomerated Cork)」は比較的大きなサイズのコルク粒(5~8mmくらい)、「マイクロアグロ」は粒が細かい(1mmくらい)のでそう呼ばれる。粒が細かいと、TCA除去処理がしやすい。

Qork®

44 x 24 mm
49 x 24 mm



TCA
<0.3ng/L

マイクロアグロ「クオーク」：Xpurとの違いはバインダー、100%天然由来（植物性ポリオール）：もちろん、マイクロスフィアは不使用：天然コルク微粒の構成比率が、体積比で98%以上、重量比で80%以上なのはXpurと同じ：競合他社品に比べ、コルク構成比率が高く、抜栓力で有利：TCA除去技術はXpurと共通：Releasable TCA量は、0.3 ng/L（検出限界）以下

CO₂ FOOTPRINT
-36,3g
per stopper

天然 コルク栓

NDtech®

45 x 24 / 25 / 26 mm
49 x 24 / 25 / 26 mm
54 x 24 / 25 / 26 mm



天然コルク「NDテック」：コルク栓を個々にガスクロマトグラフィーで測定・選別を行い、遊離可能なTCA含有量が限界値以下であることを保証するシステム：Releasable TCA量は、ISO 20752に準拠した社内測定法で、0.5 ng/L以下：製造工程全体の完全なトレーサビリティ：X線検査およびシール検証システム（SVE）

Naturity®

45 x 24 / 25 / 26 mm
49 x 24 / 25 / 26 mm
54 x 24 / 25 / 26 mm



天然コルク「ナチュリティ」：TCA及び150種類以上の異臭原因物質を除去：Releasable TCA含有量は、99%が0.5 ng/L以下、1%が1.0 ng/L以下：製造工程の完全なトレーサビリティ：X線検査およびシール検証システム（SVE）製造工程全体の完全なトレーサビリティ：X線検査およびシール検証システム（SVE）：びん口への嵌合適性がより優れる「Bee-W」（天然由来のワックス）が選択可能

Acquamark®

38 x 24 mm
45 x 24 mm
48 x 24 mm



天然コルク「アクアマーク」：水性コーティングで天然コルクの表面の「穴」や「鬆（す）」を補正するので外観に優れ密封性が高い：密封性確認の「シーリング検証システム（SVE）」を導入：TCA除去はROSA Evoシステムで対応：
価格面でメリットがあります

AMORIM
CORK × KITA SANGYO

マイクロアグロ※ コルク栓

※従来の「圧搾コルク(Agglomerated Cork)」は比較的大きなサイズのコルク粒(5~8mmくらい)、「マイクロアグロ」は粒が細かい(1mmくらい)なのでそう呼ばれる。粒が細かると、TCA除去処理がしやすい。

Xpür®

CO₂ FOOTPRINT
-34,8g
per stopper

38 x 24 / 25 mm
44 x 24 / 25 mm
49 x 24 mm

TCA
<0.3ng/L



マイクロアグロ「Xピュア」：競合他社品に比べて感応試験で高評価：天然コルク微粒の構成比率が、体積比で98%以上、重量比で80%以上：競合他社品(重量比65%以上など)に比べ、コルク構成比率が高く、抜栓力で有利：バインダー（結合剤）はマイクロスフィアは不使用で化学物質的に安心：競合他社品はウレタングレーのバインダー：従来技術よりエネルギー消費やCO₂消費量の少ない、独自のCO₂超臨界流体技術でTCAを除去：Releasable TCA量は、ISO 20752に準拠した社内測定で、0.3 ng/L（検出限界）以下

Qork®

CO₂ FOOTPRINT
-36,3g
per stopper

44 x 24 mm
49 x 24 mm

TCA
<0.3ng/L



マイクロアグロ「クオーク」：Xpurとの違いはバインダー、100%天然由来（植物性ポリオール）：もちろん、マイクロスフィアは不使用：天然コルク微粒の構成比率が、体積比で98%以上、重量比で80%以上なのはXpurと同じ：競合他社品に比べ、コルク構成比率が高く、抜栓力で有利：TCA除去技術はXpurと共通：Releasable TCA量は、0.3 ng/L（検出限界）以下



Neutrocork®

CO₂ FOOTPRINT
-43,2g
per stopper

38 x 25 mm
44 x 25 mm



マイクロアグロ「ニュートロ・コルク」：高い弾性特性と優れた機械的適性：バインダーにはマイクロスフィアは不使用：TCA除去はROSAシステムで対応：**価格面でメリットがあります**



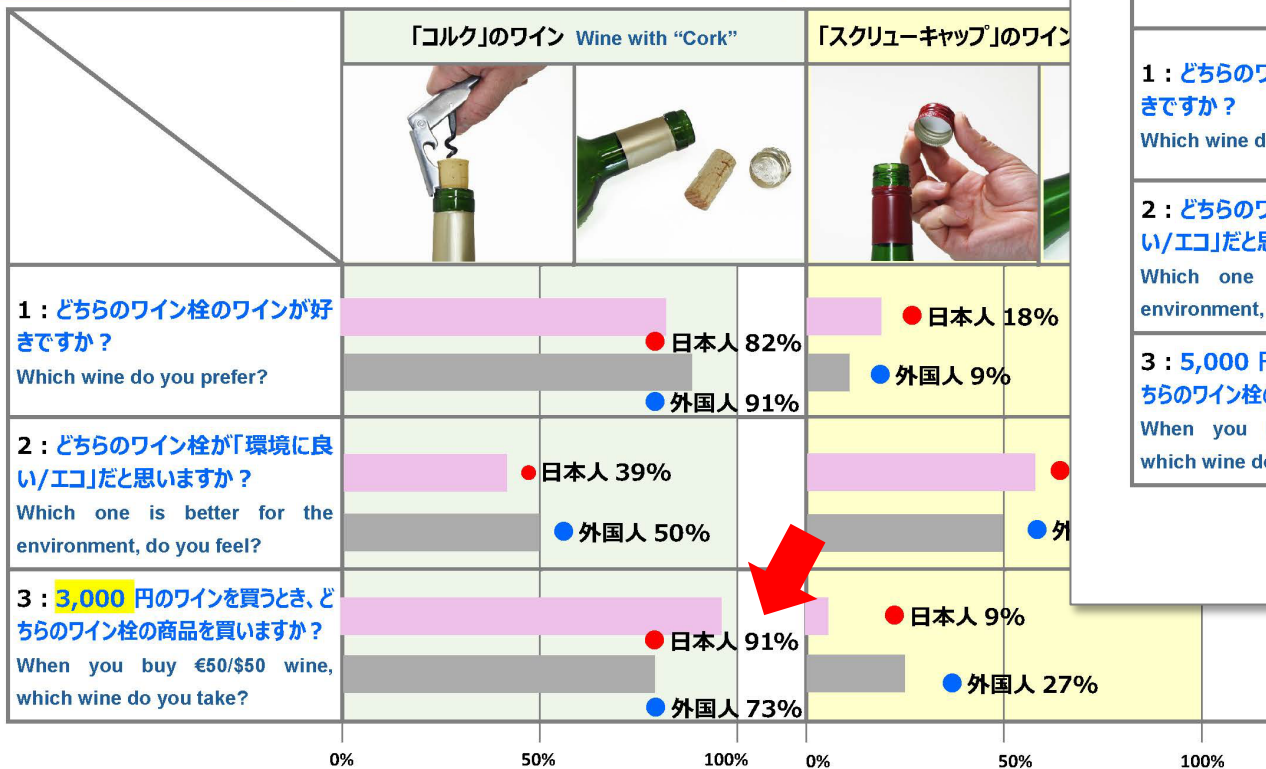
2015年と、10年後の2025年に、同じサーベイを行った結果 (FOODEX展示会が実施)



- 2015年：3,000円以上のワインを買う時、コルク栓を選ぶ人→日本人の91%
- 2025年：5,000円以上のワインを買う時、コルク栓を選ぶ人→日本人の94%

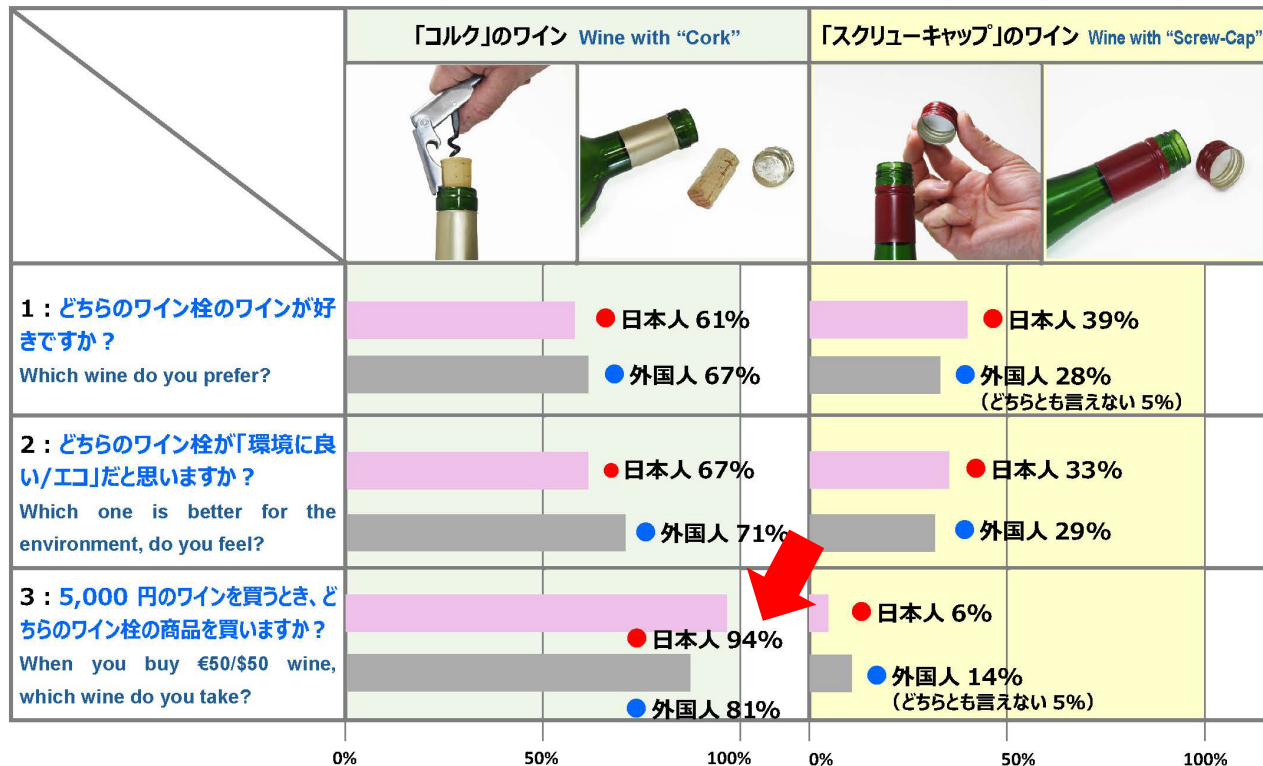
@FOODEX2015

ワインびんの栓は、「コルク」? 「スクリューキャップ」?? 各質問で、●マークを1つつけてください。
Wine bottle preference : Cork ? or Screw-Cap ?? Please put ● (1 mark each)



@FOODEX2025

ワインびんの栓は、「コルク」? 「スクリューキャップ」?? 各質問で、●マークを1つつけてください。
Wine bottle preference : Cork ? or Screw-Cap ?? Please put ● (1 mark each)



→プレミアムワインにはコルク栓